

性犯罪加害者の理解と対策

聖マリアンナ医科大学

神経精神科学教室

安藤久美子

outline

◆性暴力とは

◆誤解されやすい4つの事項

◆性犯罪被害者の認知のゆがみ

◆再犯につながりやすい3要素

◆性犯罪被害者の犯罪防止の取り組み

◆性暴力とは

臨床の場面で扱う性加害行為

- ・ 同意のない性行為
- ・ 犯罪未満の行為も含む

性暴力とは

接触性・攻撃性

小 → → → → → → → → 大



①同意なし

②同意があっても
対等性なし

③強要性あり

司法概念：黒か白か

臨床概念：実際にはいずれも連続体
明確に区別できない

この背景には日本社会の文化的背景も影響している

性暴力とは

接触性・攻撃性

小 → → → → → → → → 大



①同意なし

②同意があっても
対等性なし

③強要性あり

強要
する側

女性が逆らうのか

上司に逆らうのか

少く
強要してあたり前

強要
される側

- ・ 明確に意思表示することは女性らしくない
- ・ 出世できない
- ・ 降格させられる

この背景には日本社会の文化的背景も影響している

性犯罪加害者の理解と対応

適切に対処するためには

性加害と性被害の

両方の正しい理解が必要

◆誤解されやすい4つの事項

誤解されやすい事項 1

抑えがたい
性的欲求

誤解されやすい事項 2

性的欲求は
コントロール不能

誤解されやすい事項 3

被害者は
見知らぬ人

誤解されやすい事項 4

性犯罪は
すぐに発覚

性加害を正しく理解する

◆誤解されやすい事項 1

性暴力は、抑えがたい**性的欲求**による

- ・ 性的関心はある。
- ・ しかし同時に性犯罪は、性を通じて表現された他者への**攻撃・支配**でもある。
- ・ 一般的な性的満足とは異なる。
- ・ 性欲が強い、男性ホルモン値が高いとは限らない。

性加害を正しく理解する

◆誤解されやすい事項 2

性的欲求は衝動的で**コントロール不可能**である

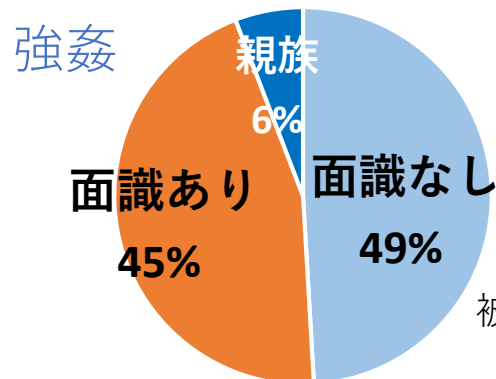
- ・ 性犯罪者は捕まらないように被害者や状況を選ぶ。
- ・ 「より弱い」者／「抵抗しないであろう」者を選ぶ。
- ・ 特殊な性嗜好のある者もあるが、年齢（60歳以上の場合もある）容姿、服装は関係ないこともある。
- ・ 男子の被害も実際には多い。
- ・ 嗜好の偏りは、思春期頃から現れる。

性加害を正しく理解する

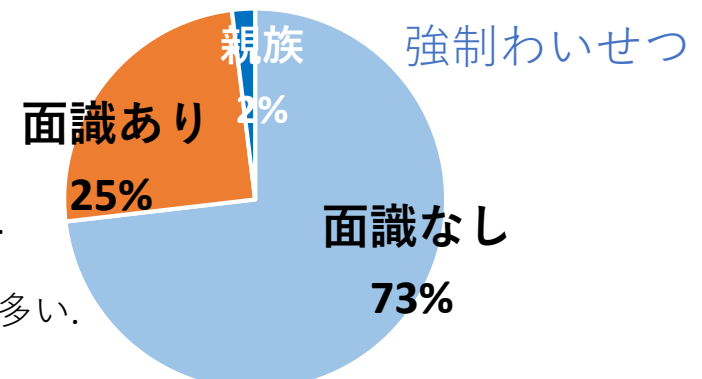
◆誤解されやすい事項 3

加害者は発覚を恐れて見知らぬ被害者を選ぶ。

- ・ 性犯罪者は、しばしば家族、友人、知人など被害者に信頼されている人々である。
- ・ 近親姦も決してまれではない。



これは見かけ上の割合。
面識のある人からの
被害は訴えないことが多い。



性加害を正しく理解する

◆誤解されやすい事項4

性犯罪はたいてい**すぐに発覚**する。

- 見つからない性犯罪のほうが多い。
- 加害者はどの社会階層どの知的レベルにも存在する。
(高い社会的地位・高学歴者は見逃されやすい)
- 見つからなければ、自ら悔い改めることはない。
- 見つかってでも全力を尽くして言い逃れようとする。
(性犯罪の合理化)

◆ 誤解されやすい4つの事項

誤解されやすい事項 1

性的欲求

誤解されやすい事項 2

性的欲求は

コントロール不能

性犯罪加害者の認知のゆがみ

誤解されやすい事項 3

被害者は

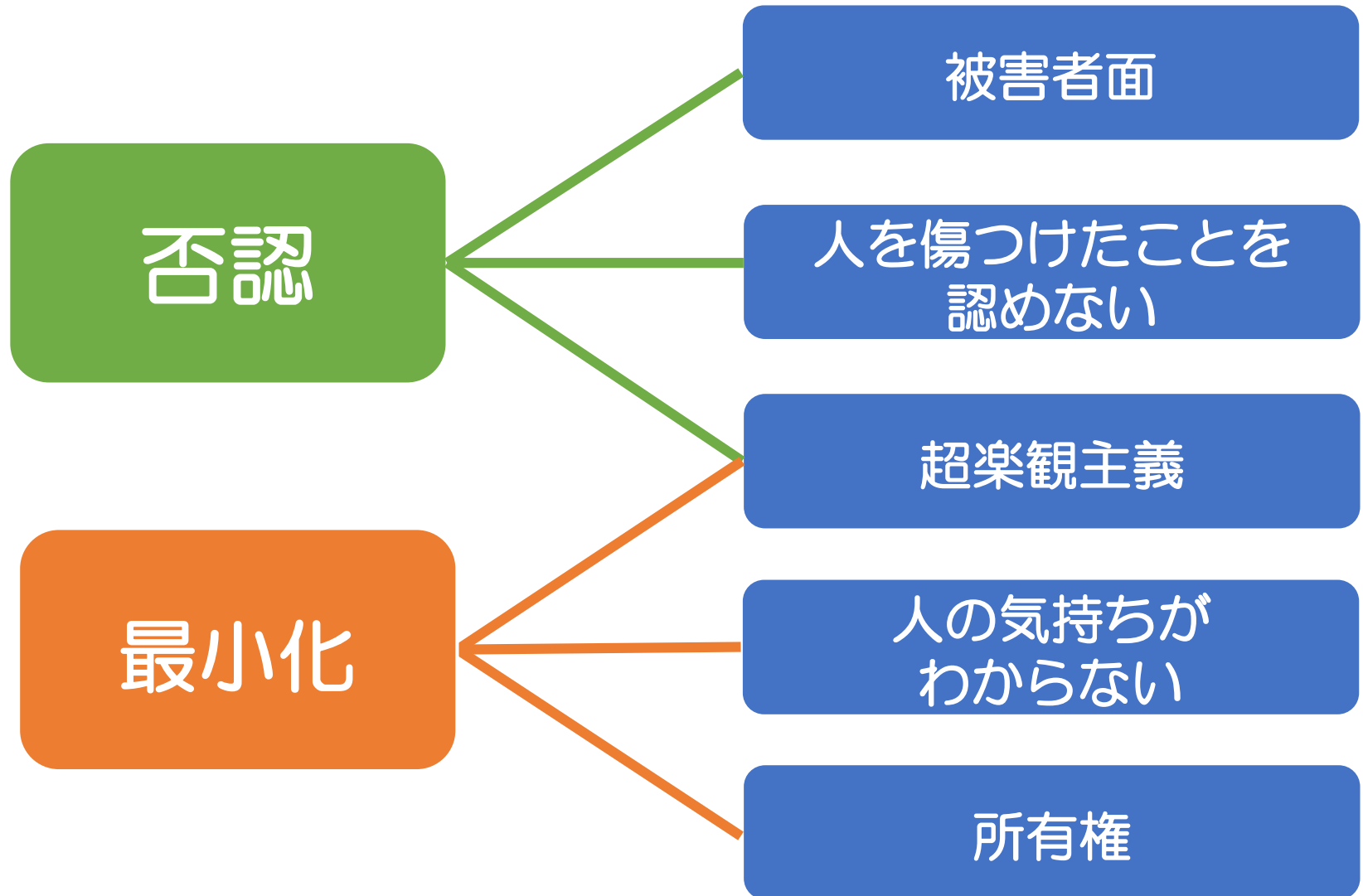
見知らぬ者

誤解されやすい事項 4

性犯罪は

すぐに発覚する

◆性犯罪加害者の認知のゆがみ



性犯罪加害者の認知のゆがみ

否認

(例)

向こうから誘ってきたのに、こんなことになって迷惑だ

相手も全く嫌がっていなかった（むしろ積極的だった）

子どもに優しくしてあげただけで、悪い事はしてない

酔っぱらってたから思い出せない

誰か別の人がやったに違いない

自分の性格や性的関心は変えることができないから仕方がない

性犯罪加害者の認知のゆがみ

最小化

(例)

嫌だと言っても、本当はそれほど嫌だと思っていないはず

その時はショックかもしれないが、すぐに忘れる

ちょっと触れるくらいなら気づかない

被害者は事件にあったことを、周囲に話さないだろう

風俗業の人は、何をしても傷つくことはない

子どもは意味がわかっていないから傷つかない

小さい子どもは秘密を守るし、すぐに忘れる

自分の性格や性的関心は変えることができないから仕方がない

性犯罪加害者の認知のゆがみ

否認

最小化

(例)

痴漢のサイトやDVDが売っていたりするのは、みんな痴漢をやっているけど、見つからずに楽しんでいるということだ

露出が多い服を着ている女性は触られたいと思っているからだ
短いスカートをはいているのはスカートの中を見られてもよいと思っているからだ

相手が自分に親切にするのは、性的なことをしたいと思っているから

自分がやったことがバレなければ問題ないし、やってないのと同じだ

アダルトビデオやアダルトサイトのようなことをみんなしたいと思っているはずだ

性犯罪加害者の認知のゆがみ

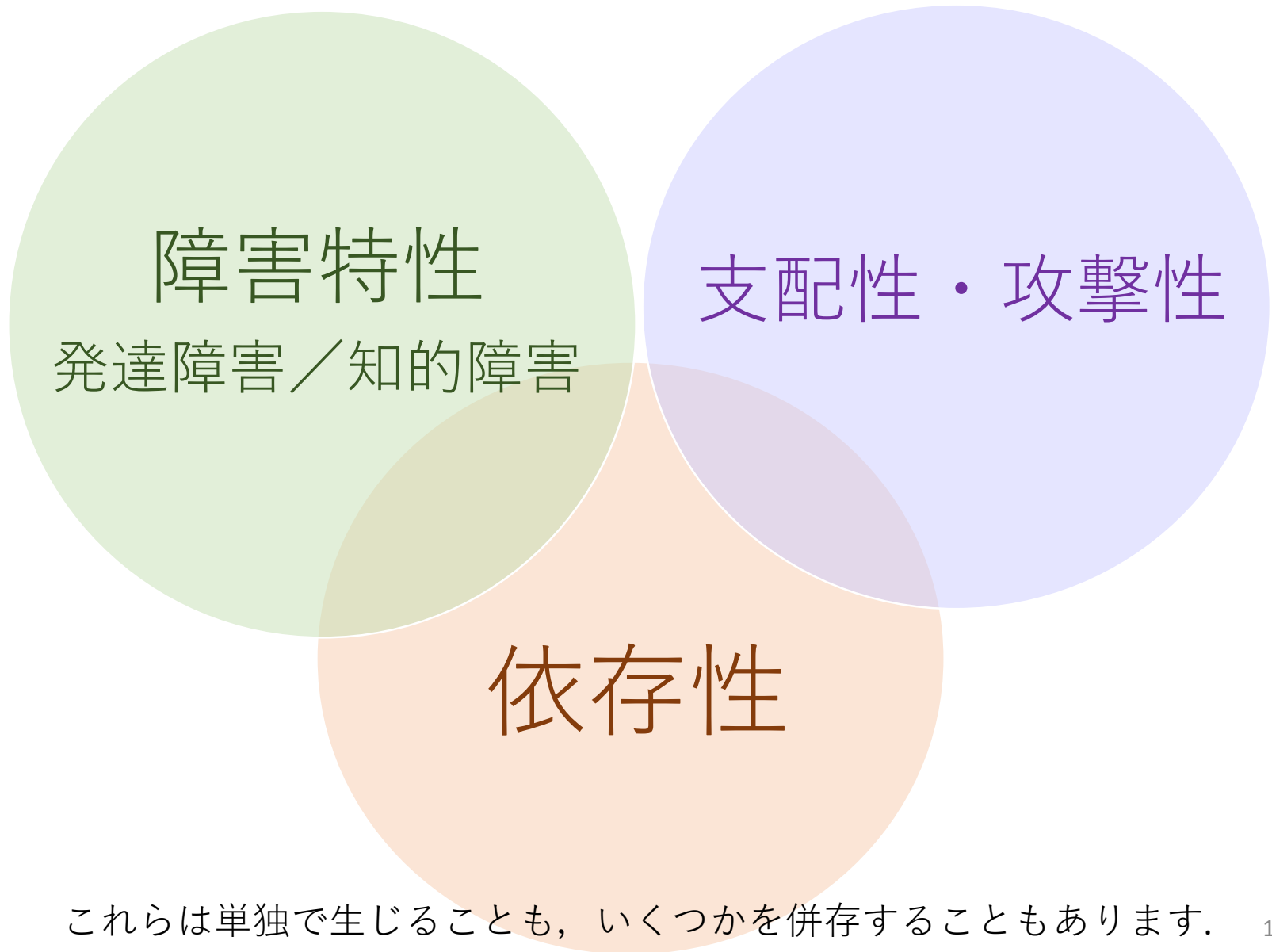
認知のゆがみ

発達障害や知的障害
パーソナリティ特性

が背景にあることもある

相手との関係性によっても
「認知のゆがみ」の大きさは変化する

◆再犯につながりやすい3要素



これらは単独で生じることも、いくつかを併存することもあります。

加害者の特徴：障害特性

障害特性

発達障害／知的障害

独自の理論に基づいた行動
(こだわりの強さなど)

一般常識・社会ルール
の理解の欠如

相手の気持ち・表情を
正しく理解できない

性関連の知識不足
(安全なセックス・性感染症
・避妊法など)



相手の気持ちや表情を読み取れない

障害特性

発達障害／知的障害

表情

怒っている

表情がない

困っている

笑っている
(苦笑い)

態度

うつむいて
いる

目を背ける

体をこわば
らせている

首を振って
いる

行動

黙りこんでいる

避ける

「いやだ」と
言っている

じっとしている

相手の気持ちのサインを

正しく読み取れない例

- ・ 区別できない
- ・ 誤って受け取る

これは、すべて拒否を示す表現の例です。

加害者の特徴：支配・攻撃

支配性
攻撃性

ストレスの解消

劣等感・自己評価の低さ

過去の被害体験（の仕返し）

攻撃的なパーソナリティ

失敗しない
弱い者を狙う

or

凶器を使って
強くなる



加害者の特徴

依存性

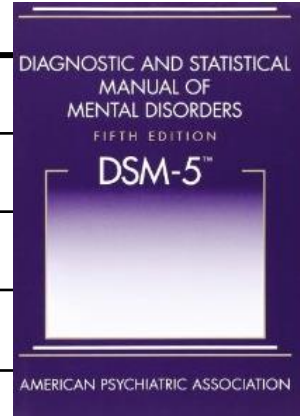
精神医学の中の性に関する項目 (DSM-5)

パラフィリア障害

- ・露出症
- ・フェティシズム
- ・窃触症
- ・窃視症
- ・小児愛 など

犯罪

10	哺育と摂食の障害
11	排泄障害
12	睡眠覚醒障害
13	性機能不全
14	性別違和
15	破壊性衝動制御行為障害
16	物質関連と嗜癖の障害
17	神経認知障害
18	パラフィリア障害
19	その他の精神障害
20	投薬誘発性運動障害とその他の副作用



(アメリカ精神医学会：DSM-5より)

パラフィリア障害

依存性

性に関する嗜好や行動の異常（性障害）には、**質的な異常**と**量的な異常**がある。

このうち**質的な**性障害のひとつで、

- 普通でない対象、行為、または状況に関して、
- 反復的に強烈な性的衝動を感じたり、
空想を抱いたり、
- 性的行動を反復することを特徴とするものを
いう。

依存
行動

加害者の特徴：依存性

依存性

パラフィリア障害

- ・露出症
- ・フェティシズム
- ・窃触症
- ・窃視症
- ・小児愛 など

犯罪

接触・攻撃性

小 → → → → 大



臨床的には連続

繰り返すほど依存は強まり
求める刺激も強まっていく

加害者の特徴：依存性

依存性

繰り返すほど依存は強まり
求める刺激も強まっていく

家庭生活や社会生活が崩壊
する危険があることを頭で
は理解しながらも犯行を繰
り返してしまふ

その内面は・・・

① 「捕まったらどうしよう」

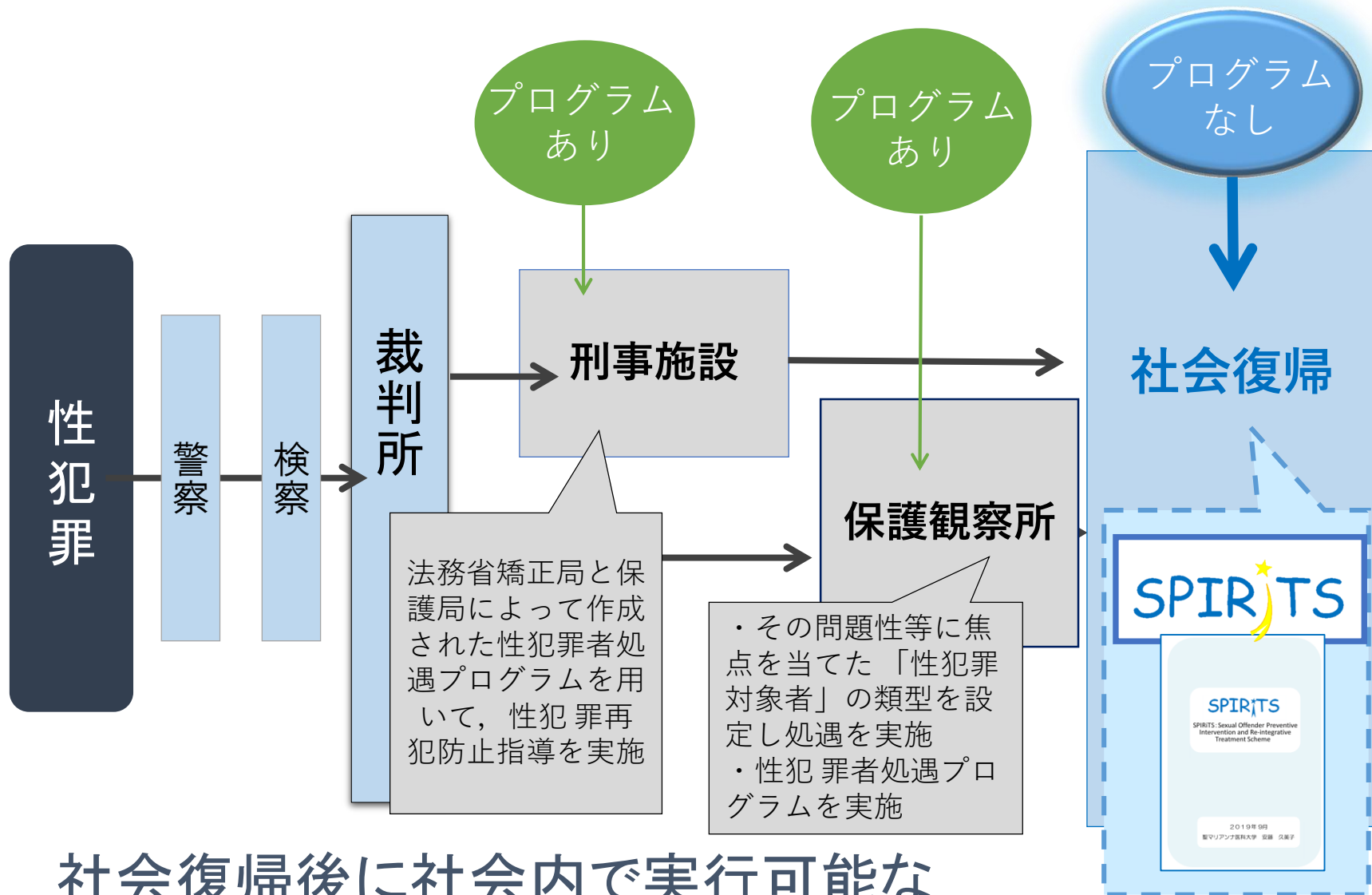


② 「あと一回だけ」
「もうこれでやめよう」



③ 「大丈夫だ」
「今回もうまくいく」
「いつでもやめられる」

◆性犯罪加害者の犯罪防止の取り組み



社会復帰後に社会内で実行可能な
治療プログラムがなければ再犯は防止できない

(新聞記事を引用)

治療プログラムの開発や実施の詳細については
犯罪学雑誌84巻6号をご参照ください。



第4回 脱衣・接触, 性的関係に関する社会的ルール から抜粋

1 服を脱いでもよい場面、いけない場面

前回は対人関係についてみんなで学びましたね。社会にはいろいろな取り決めやルールがあります。ルールを守らないと、逮捕されてしまうかもしれません。服を脱ぐ(下着姿になったり、はだかになる)ことについても、社会的なルールがあります。

あなたは、どんな場所でどんな時に服を脱ぎますか？

場所: 自分の部屋 どんな時: 暑いとき

場所: プールの更衣室 どんな時: 水着に着替えるとき

場所: _____ どんな時: _____

これは服を脱いでもよい場面でしょうか？ ()の中に○と×を書きましょう。

- 温泉の更衣室で裸になる → (○)
- 自分の部屋で一人の時に服を脱ぐ → (○)
- 自分の部屋で友達がいるときに服を脱ぐ → (×)
- 外でズボン脱ぐ → (×)

2 触ってもよい相手／触ってもよい場面

接触(人に触ること)にも、社会的なルールがあります。触ってはいけない人に触ったり、触ってはいけない場面で人に触ると、逮捕されてしまうかもしれません。それでは、触ってもいい人と触ってはいけない人はどんな人で、触ってもいいのはどんなときでしょうか？ 当てはまるものを選んで、□の中に✓を書いてみましょう。



家族	<input type="checkbox"/> いつでも触っていい	<input checked="" type="checkbox"/> 時と場合による
	<input type="checkbox"/> いつでも触ってはいけない	
恋人	<input type="checkbox"/> いつでも触っていい	<input checked="" type="checkbox"/> 時と場合による
	<input type="checkbox"/> いつでも触ってはいけない	
電車で横に立っている人	<input type="checkbox"/> いつでも触っていい	<input type="checkbox"/> 時と場合による
	<input checked="" type="checkbox"/> いつでも触ってはいけない	
同性の友達	<input type="checkbox"/> いつでも触っていい	<input checked="" type="checkbox"/> 時と場合による
	<input type="checkbox"/> いつでも触ってはいけない	
異性の友達	<input type="checkbox"/> いつでも触っていい	<input checked="" type="checkbox"/> 時と場合による
	<input type="checkbox"/> いつでも触ってはいけない	
すれ違った知らない子ども	<input type="checkbox"/> いつでも触っていい	<input type="checkbox"/> 時と場合による
	<input checked="" type="checkbox"/> いつでも触ってはいけない	
仕事で初めて会った人	<input type="checkbox"/> いつでも触っていい	<input checked="" type="checkbox"/> 時と場合による
	<input type="checkbox"/> いつでも触ってはいけない	

4 性行為をしてはいけない場面

同意については次回のセッションで詳しく学びますが、嫌がっている人や、セックスのことを理解していない人や性的な行為をしてはいけません。また、性的な行為をしてもいい相手とでも、してもよい場面としてはいけない場面があります。前回のセッションで学んだように、「私的な場所」以外(つまり「公的な場所」)では、性的なことはしてはいけません。それでは、下の文章を読んで、正しければ○、間違っていれば×を()の中に書いてみましょう。

- (○) 自分の部屋で恋人とセックスをする
- (×) 電車の中で恋人の身体を触る
- (×) デパートのトイレで恋人とセックスをする
- (×) 子どもがいる前で恋人とセックスをする
- (×) 公園で性器を露出する
- (×) 電車の中でエッチな本を読む
- (○) ホテルの部屋でマスターベーションをする
- (×) 良いと言われたので15歳の女の子とセックスをする



服を脱いでもよい場面、脱いではいけない場面について考える

触ってもよい相手や場面について考える

性行為をしてはいけない相手/場面について考える



SPIRITS

第8回 考え方のクセと認知のゆがみから抜粋

3 自分がしたことを認められない理由

悪いことをしてしまったときに、自分がしたことを認めるのが難しいのは、自分の心が傷つかないように、無意識に守ろうとしているからです。心を守るはたらきには色々なものがありますが、その中に否認と最小化というものがあります。ですが、これらは、相手の気持ちを無視した、間違った考え方です。

否認
そんなことはしていないと言う、やったことを認めない

それは僕じゃないよ！
酔っばらっていたから思い出せないなあ…

最小化
自分のしたことを小さいもののように(たいしたことない)、そんなに悪いことではないと考える

少ししか触ってないよ！
別に、相手は気にしていないだろう

4 こんなとき、どんなことを考えますか？

否認や最小化は、その人の考え方のクセとして、色々な場面で現れます。
仮に、みなさんが下に書かれているようなことをしたとします。その時みなさんはどんなことを考えるでしょうか？ 思いついたことを、そのまま書いてみてください。

- ① 仲の良い女友達と2人きりになったので、抱きついた
考え: 友達だから許してくれるだろう
- ② たまたま女性の更衣室の扉が少し開いていて、中が見えたのでこっそり覗いた
考え: 自分で扉を開けたわけじゃないから悪い事はしてない
- ③ 周りに誰もいなかったので、10円のチョコを1つだけこっそりカバンの中に入れた
考え: たった10円だからたいしたことない
- ④ 電車で隣に座っている女性が短いスカートを履いていたので少しだけ足を触ったら、黙っていたのもっと触った。
考え: 黙っているということは、触ってもいいということだ。

6 性犯罪に関連した考え方のゆがみ

今口を付けてもらったような考え方は、性犯罪に関連した考え方のクセです。性犯罪に関連した考え方のクセは、下に示したような考え方のゆがみから生まれていることが多いのです。
ここでは、性犯罪と関連した考え方のゆがみについてみてみましょう。

被害者の立場	自分が被害者だと主張したり、相手のせいにする 考え方のクセの例: 被害者が僕を誘惑したから触っただよ
所有権	相手を自分の道具や所有物だと考えて、利用したり傷つけたりする 考え方のクセの例: 被害者は自分の言うことに逆らえないから何をしてもいいんだ
人を傷つけた事を認識できない	自分のせいで被害者の心や身体が傷ついたということに目を向けない 考え方のクセの例: 被害者が勝手に暴露されたからケガをしたのであって、私のせいではない
共感の失敗	被害者の苦しみや恐怖を認めない 考え方のクセの例: 被害者はそんなに怖がっていなかったよ
超楽観主義	相手の気持ちを一切考えない行動をしたり、考えを持つこと 考え方のクセの例: 被害者とデートしたいから話ってみよう

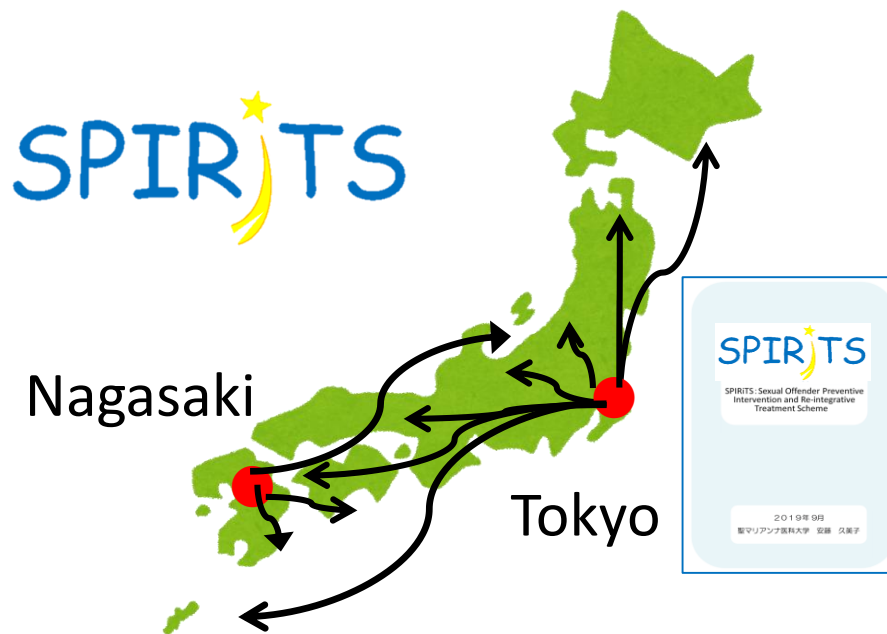
悪いことをしたときに認めづらい理由として否認と最小化を説明する

自分の考え方のクセ(否認や最小化)を考える

性犯罪に関連した認知の歪みについて理解する

◆性犯罪加害者の犯罪防止の取り組み

性犯罪の**専門家**でなくても、地域の精神保健に携わるスタッフならだれでもが実践可能なプログラムを開発し、性犯罪者の治療に対する積極的な取り組みを全国に発信しています。



受刑中には問題は起こらないし、治療の検証にも制限がある。

社会復帰後の実世界でどう治療し、支援するかが最も大切。

ご清聴ありがとうございました